



Victor



LYT2239-001A-M

準備
する

撮影
する

再生
する

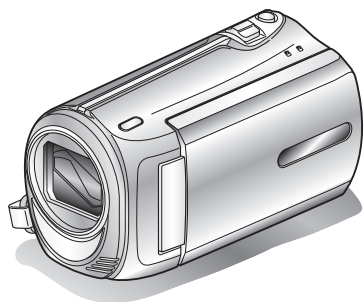
保存
する

その他

ビデオカメラ

型名 **GZ-MS213**

基本取扱説明書



Everio

お買い上げありがとうございます。
ご使用前に、「安全上のご注意」(P.2) および「使用上のご注意」(P.28) を
必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
本製品には、「基本取扱説明書(本書)」と「Web ユーザーガイド」があります。

Web ユーザーガイド



いろいろな場面での撮影のしかたや便利な機能について、すべての内容を説明しています。

■ **パソコンから下記アドレスにアクセスする**

<http://manual.jvc.co.jp/c0s3/lyt2116-030jp>



DOLBY
DIGITAL
STEREO CREATOR

安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと	禁止されていること	実行して欲しいこと
 一般的注意	 禁止	 一般的指示
 感電注意	 分解禁止	
	 ぬれ手禁止	
	 水場での使用禁止	

万一異常が発生したときは



- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物などが入った
- 落下などにより破損した
- 電源コードが痛んだ

バッテリーをはずす





電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
販売店に修理を依頼してください。
お客様による点検、整備、修理は危険です。

危険 「死亡、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される」
内容を示しています。










バッテリー・電池について、次のような誤った取り扱いはしない

-  禁止
 - プラス (+) とマイナス (-) のまちがい
 - 金属物 (ネックレス、ヘアピンなど) といっしょに携帯・保管する
 - 分解、加工、加熱および水中もしくは火中に入れる
 - 高温 (60℃以上) になる場所に置く
- ・ 誤った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。万一、液漏れしたら、取り付け部をよくふいてください。
- ・ 液漏れしたバッテリー・電池は使わないでください。
- ・ 液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
- ・ 液が目に入ったときは、きれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。
- ・ バッテリーを持ち運ぶときは、端子部に金属が触れないようにビニール袋に入れて保管してください。
- ・ 幼児の手の届くところには置かないでください。
-  禁止 変形や破損したバッテリーは、そのまま放置したり使用をしないで処分する
・ そのまま放置したり使用すると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。(バッテリーの処分方法については32ページをご覧ください。)









警告 「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。

-  禁止 内部に物を入れない
・ SDカードスロットなどから内部に物が入ると、火災や感電、故障の原因になります。
-  禁止 レンズを直射日光などに向けない
・ 集光により、内部部品が破損、過熱し、火事や故障の原因になります。
-  禁止 乗り物を運転中に使用しない
・ 交通事故の原因になります。
-  水場での使用禁止 雨や雪の降る屋外や浴室などの湿度の多い場所で使用しない
・ 本機の上に、水や液体が入った容器などを置かないでください。
・ 水や液体が内部に入ると、火災や感電を引き起こす原因になります。

警告 「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。

-  **分解・改造をしない**
・火災や感電の原因になります。
-  **付属のACアダプター以外は使用しない**
・火災や感電、故障の原因になります。
-  **電源プラグは根元まで確実に差し込む**
一般的注意
・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。
-  **電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに差し込む**
一般的注意
・本機に異常が発生したときに、ただちに電源プラグが抜けるようにしてください。
-  **電源コードを傷つけない**
・痛んだまま使用すると、火災や感電の原因になります。
-  **電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない**
・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。
-  **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
ぬれ手禁止
・感電の原因になります。
-  **雷がなったら、電源プラグには触らない**
感電注意
・感電の原因になります。
-  **ACアダプターや機器を接続するときは、電源を切る**
一般的指示
・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。

注意 「人が障害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。

-  **5年に1度は内部の点検を販売店に相談する**
一般的指示
・湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。
-  **病院内や飛行機内での使用は、病院、航空会社の指示に従う**
一般的指示
・本機の電磁波が計器類に影響するおそれがあります。
-  **グリップベルトをゆるんだまま使用しない**
一般的指示
・落下によるけがや故障の原因になります。
また、お子様は大人と一緒にお使いください。
-  **三脚を確実に取り付ける**
一般的指示
・落下などによるけがや故障を防ぐため、お使いの三脚の説明書をご覧ください。
しっかりと取り付けてください。
-  **移動するときは電源プラグや接続コード類をはずす**
一般的指示
・コードを傷つけると、火災や感電の原因になります。
-  **長時間使用しないときやお手入れをするときには、電源プラグやバッテリーをはずす**
一般的指示
・電源が「切」でも機器に電気が流れています。電源プラグやバッテリーをはずしてください。感電の原因になります。
-  **湿気や砂ほこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使用しない**
禁止
・火災や感電、故障の原因になります。
-  **熱源の近くでは、使用しない**
禁止
・火災や故障の原因になります。

もくじ

安全上のご注意	2	テレビで映像を見る	15
もくじ	4	▶保存する	16
付属品を確認する	4	いろいろな保存のしかた	16
各部のなまえとはたらき	5	DVD レコーダーやビデオデッキにつな いでダビングする	17
▶準備する	6	パソコンに保存する	18
バッテリーを充電する	6	▶その他	21
グリップベルトを調節する	7	メニューの使いかた	21
SD カードを入れる	8	撮影時間/枚数の目安	25
時計を合わせる	10	故障かな! ? と思ったら	26
▶撮影する	12	使用上のご注意	28
動画を撮る	12	仕様	30
静止画を撮る	13	保証とアフターサービス	31
▶再生する	14		
本機で映像を見る/削除する	14		

▶一歩進んだ使いかたを知りたいときは

パソコンで見る「Web ユーザーガイド」を使って、使いかたを調べてみましょう。

■ パソコンから下記アドレスにアクセスする

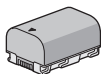
<http://manual.jvc.co.jp/c0s3/lyt2116-030jp>

付属品を確認する

AC アダプター
AP-V30※



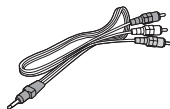
バッテリーパック
BN-VG107



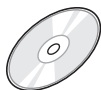
専用 USB ケーブル
(A タイプ-ミニ B タイプ)



専用 AV コード



CD-ROM



基本取扱説明書
(本書)

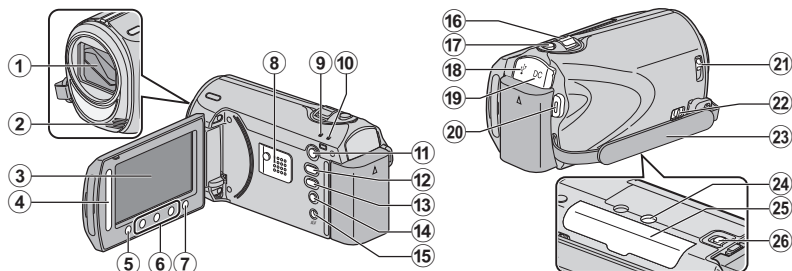


• SD カードは別売です。

本機で使えるカードの種類については、P.8 をご覧ください。

※ 海外で AC アダプターを使うときは、訪問国や地域に合った市販の変換プラグをご用意ください。

各部のなまえとはたらき

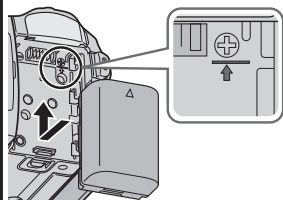


- ① レンズ/レンズカバー
- ② ステレオマイク
- ③ 液晶モニター
開閉すると、電源を入切できます。
- ④ スライダー
画像や項目を選びます。
- ⑤ OK ボタン
選んだ画像や項目を決定します。
- ⑥ 操作ボタン
機能によって操作ボタンが異なります。
- ⑦ Menu (メニュー) ボタン (P.21)
- ⑧ スピーカー
- ⑨ ACCESS (アクセス) ランプ
記録中や再生中に点灯/点滅します。
- ⑩ POWER/CHARGE (電源/充電) ランプ (P.6)
- ⑪ (再生) ボタン
撮影と再生を切り換えます。
- ⑫ / (動画/静止画) ボタン
動画/静止画を切り換えます。
- ⑬ UPLOAD/EXPORT
(アップロード/iTunes 転送) ボタン
撮影: YouTube や iTunes 用の動画を撮ります。
再生: YouTube や iTunes 用の動画に変更します。
- ⑭ (電源/情報) ボタン
撮影: 残量時間や連続撮影時のバッテリー残量を表示します。
再生: ファイル情報を表示します。
長押しすると、液晶モニターを開いたまま、電源を入切できます。
- ⑮ AV 端子 (P.15、 P.17)
- ⑯ ズーム/音量レバー (P.12、 P.14)
- ⑰ SNAPSHOT (静止画 撮影) ボタン (P.13)
- ⑱ USB 端子 (P.20)
- ⑲ DC 端子 (P.6)
- ⑳ START/STOP (動画 録画) ボタン (P.12)
- ㉑ レンズカバースイッチ (P.12)
- ㉒ グリップベルト取りはずしレバー
- ㉓ グリップベルト (P.7)
- ㉔ 三脚取り付け穴
- ㉕ SD カードスロット (P.8)
- ㉖ バッテリー取りはずしレバー (P.6)

バッテリーを充電する

1 バッテリーを取り付ける

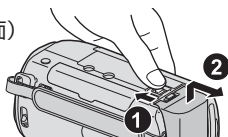
※ ご購入時のバッテリーは、充電されていません。



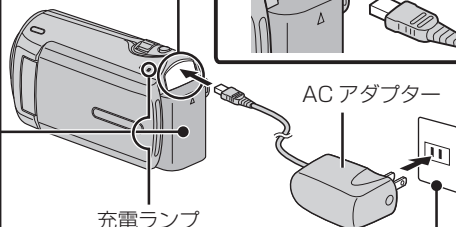
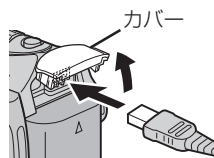
- 本体の印とバッテリー上部を合わせて、「カチッ」と音がするまでスライドします。

■ 取りはずすとき

(底面)

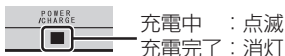


2 DC 端子につなぐ



3 コンセントにつなぐ

充電ランプ

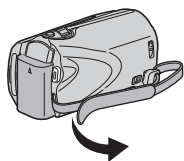


ご注意

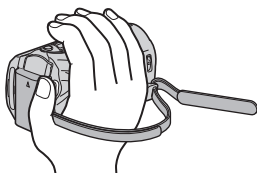
必ずビクター製のバッテリーをお使いください。

- ビクター製以外のバッテリーをご使用の場合は、安全面、性能面について保証いたしかねます。
- 充電時間：約 1 時間 50 分 (付属バッテリーの場合)
- ※ 室温 10℃ ~ 35℃ の範囲外の場所では、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。

グリップベルトを調節する



① ベルトをめくる



② 長さを調節する

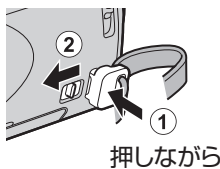


③ ベルトをしめる

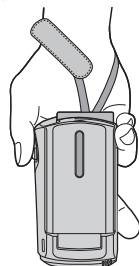
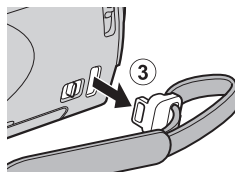
ハンドストラップとして使う

ストラップをはずして、手首を通してください。

① を押しながら、② をスライドすると、ストラップがはずれます。



押しながら



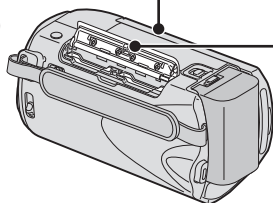
- ハンドストラップを取り付けるときは、③ を「カチッ」と音がするまで差し込みます。

SDカードを入れる

撮影する前に市販のSDカードを入れてください。
本機にはSDカードスロットが2つあります。SDカードを2枚入れると、1枚がいっぱいになっても、もう1枚を使って撮影を続けられます。

1 液晶モニターを閉じる

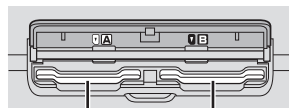
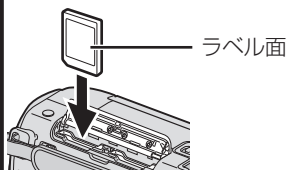
(底面)



※ カードの抜き差しは、本体の電源を切った状態で行ってください。

2 カバーを開ける

3 スロットAにSDカードを入れる

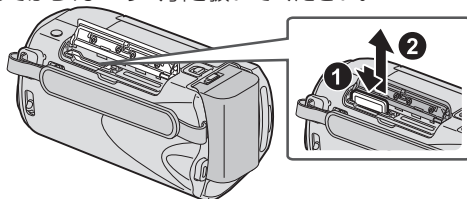


スロットA スロットB

■ 取り出すとき

カードを一度押し込んでから、まっすぐ引き抜いてください。

(底面)



お知らせ

次のSDカードで動作を確認しています。

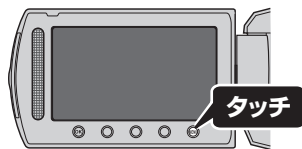
メーカー名	パナソニック(Panasonic)、東芝(TOSHIBA)、サンディスク(SanDisk)、ATP
動画	Class 4 以上対応のSDHCカード*(4GB~32GB)
静止画	SDカード(256MB~2GB)、またはSDHCカード*(4GB~32GB)

- 上記以外のカードでは、正しく記録できなかったり、データが消えたりすることがあります。

■ほかの機器で使っていたSDカードをはじめて使うときは

メディア設定の"SDフォーマット"でカードをフォーマット(初期化)します。フォーマットすると、カード内のデータはすべて消えます。フォーマットする前に、カード内のすべてのファイルをパソコンなどにコピーしてください。

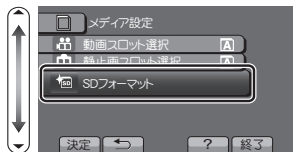
- ① **MENU** をタッチして、メニューを表示する



- ② "メディア設定"を選んで、**OK** をタッチする



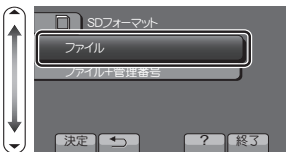
- ③ "SDフォーマット"を選んで、**OK** をタッチする



- ④ フォーマットするカードを入れたスロットを選んで、**OK** をタッチする



- ⑤ ファイルを選んで、**OK** をタッチする

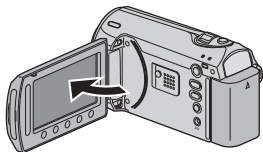


- ⑥ "はい"を選んで、**OK** をタッチする

- ⑦ フォーマットが終わったら、**OK** をタッチする

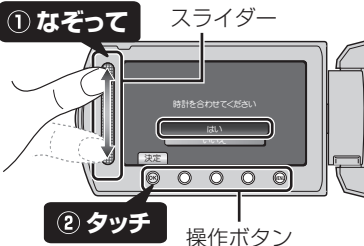
時計を合わせる

1 液晶モニターを開く



- 本体の電源が入ります。液晶モニターを閉じると、電源が切れます。

2 "時計を合わせてください"が表示されたら、"はい"を選んで、**OK** をタッチする



- 選ぶときは、スライダーをなぞり、操作ボタンを軽くタッチして決定します。

3 日時を設定する



- スライダーで、年、月、日、時、分を合わせます。
- 操作ボタンの「←」/「→」をタッチすると、カーソルを移動できます。

4 日時設定が終わったら、**OK** をタッチする

5 お住まいの地域を設定して、**OK** をタッチする

- 都市名と時差が表示されます。

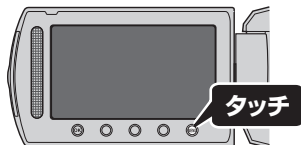
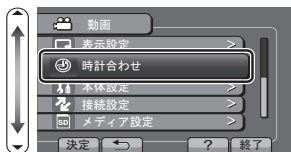
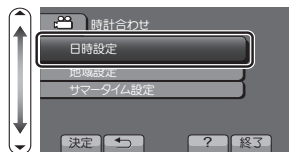


お知らせ

- 画面周囲のボタンやスライダーは、指でタッチしてください。
- 爪や手袋などでは操作できません。
- 画面内の表示に触れても動作しません。
- 長期間使用しないと "時計を合わせてください" が表示されます。24 時間以上充電してから、時計を設定してください。(P.6)

■ 時計を合わせ直すときは

メニューの"時計合わせ"から時計を合わせてください。


① メニューを表示する**② "時計合わせ"を選んで、OK をタッチする****③ "日時設定"を選んで、OK をタッチする**

- 以降の設定のしかたは、前ページの手順 3~5 と同じです。


動画を撮る

オートで撮影すれば、細かい設定を気にせずに気軽に撮影できます。
大切な撮影をする前には、試し撮りすることをおすすめします。

1 レンズカバーを開ける



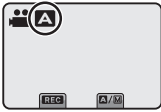
2 動画を選ぶ



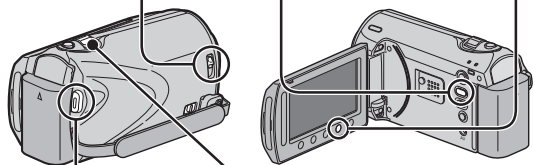
押す

3 撮影モードが **A** オートか確認する

- **M** マニュアルになっているときは、**A/M** ボタンをタッチして切り換えます。
- タッチするたびに、オートとマニュアルが切り替わります。



タッチ




ズームを使う

4 撮影する

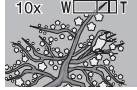
START /STOP

- もう一度押すと、停止します。



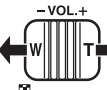
押す

10x W




(広角側)

-VOL.+




35x W



(望遠側)

■ 動画撮影中の表示



動画画質

撮影可能時間

シーンカウンター

0 : 00 : 00

● || : 停止中

● REC : 録画中

A : 記録メディア

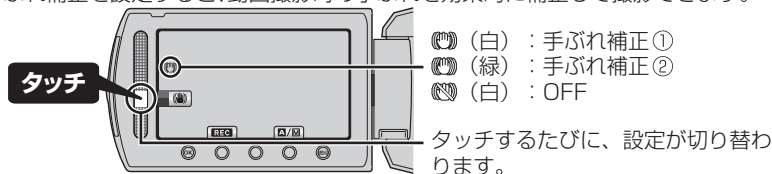
バッテリー残量

お知らせ

- 撮影時間の目安は、付属のバッテリーで約 50 分です。(P.25)

手ぶれを補正して撮る(動画撮影のみ)

手ぶれ補正を設定すると、動画撮影時の手ぶれを効果的に補正して撮影できます。

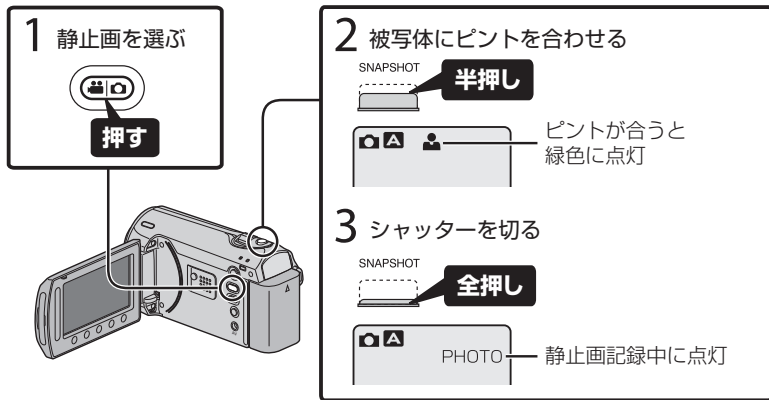


- ① 通常モード : 手ぶれを補正します。
 ② アクティブモード : 広角側での手ぶれ補正効果が大きくなります。歩きながらの撮影にも有効です。

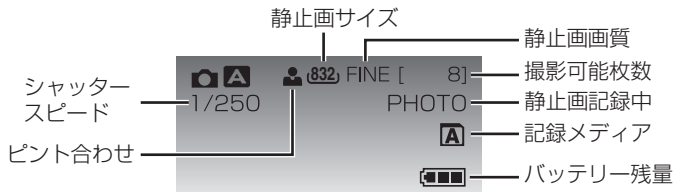
お知らせ

- 三脚などに固定して動きの少ない被写体を撮影したい場合は、"OFF"にすることをおすすめします。
- 手ぶれが大きいときは、補正しきれないことがあります。

静止画を撮る



■ 静止画撮影中の表示



本機で映像を見る/削除する

撮影した動画や静止画を一覧表示(サムネイル表示)から選んで再生します。
スロット選択で設定しているメディアの内容が一覧表示されます。

1 再生モードにする



押す

2 動画または静止画を選ぶ



押す

3 映像を再生する

再生中のメディア

① 選んで



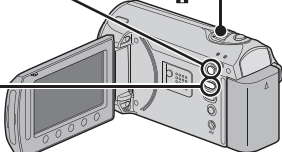
② タッチ

- 停止するとき、**■** をタッチします。

動画再生中に音量を調節する

音量小 ← **W** **T** → 音量大

-VOL.+



■ 不要な映像を削除するには

① 選んで



② タッチ

- 確認メッセージが出たら、「はい」を選んで、**OK** をタッチします。

■ 再生の1コマを静止画にするとき

一時停止中に **SNAPSHOT** ボタンを押します。

■ 再生中に使える操作ボタン

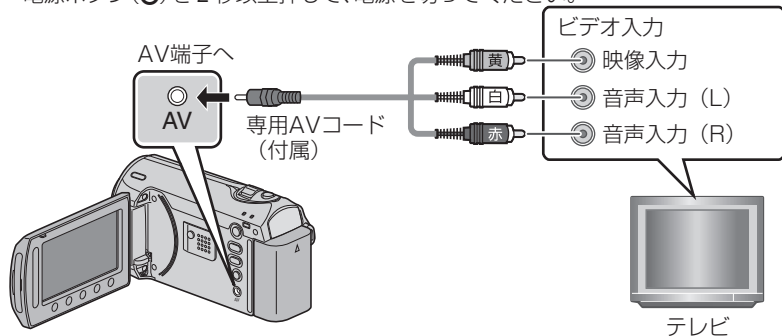
画面表示	動画再生中	静止画再生中
▶ /	再生/一時停止	スライドショー開始/一時停止
■	停止(サムネイルに戻る)	停止(サムネイルに戻る)
▶▶	次の動画に進む	次の静止画に進む
◀◀	シーンの先頭に戻る	前の静止画に戻る
▶▶▶	早送り	—
◀◀◀	早戻し	—
▶	一時停止中にコマ送り	—
◀	一時停止中にコマ戻し	—

テレビで映像を見る

1 テレビに接続する

※ テレビの取扱説明書もご覧ください。

- 電源ボタン(⏻)を2秒以上押して、電源を切ってください。



2 ACアダプターをつなぐ (P.6)

- ACアダプターを接続すると自動で電源が入ります。

3 テレビの入力切換を選ぶ

4 映像を再生する (P.14)

■ 日時などを表示して再生したいときは

接続設定メニューの "テレビ表示" を "入" に変更してください。(P.24)

また、再生メニューの "画面表示" を "すべて表示" または "日付のみ表示" にしてください。(P.23)

■ テレビの表示が不自然なときは

テレビに正常に表示されない	<ul style="list-style-type: none">• ケーブルを抜き差ししてください。• 本機の電源を入れ直してください。
テレビに縦長に映る	接続設定メニューの "ビデオ出力" を "4:3" に変更してください。(P.24)
テレビに横長に映る	テレビ側で画面を調整してください。

お知らせ

- テレビに関する質問や接続方法については、テレビの製造元にお問い合わせください。

準備する

撮影する

再生する







保存する

その他

いろいろな保存のしかた

本機は、いろいろな機器とつないでディスク作成や保存ができます。

- DVDライターと接続して保存することはできません。

使用する機器		 VHS	 DVD	 HDD	参照 ページ
DVDレコーダーやビデオデッキにつないでダビングする	DVDレコーダー 	○	○	○	P.17
	ビデオデッキ 	○	—	—	P.17
パソコンに保存する		—	○※	○	P.18

※ パソコンを使ったディスクの作りかたについて、詳しくは Web ユーザーガイドをご覧ください。

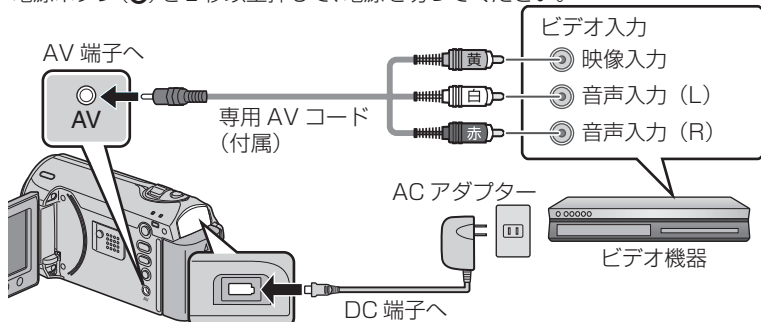
DVDレコーダーやビデオデッキにつないでダビングする

DVDレコーダーやビデオデッキに接続して、動画を標準画質でダビングできます。テレビやDVDレコーダー、ビデオデッキなどの取扱説明書もご覧ください。

準備する

1 ビデオ機器に接続する

- 電源ボタン(⏻)を2秒以上押して、電源を切ってください。

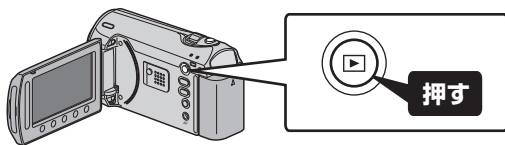


- ACアダプターを接続すると自動で電源が入ります。

撮影する

再生する

2 再生モードにする



保存する

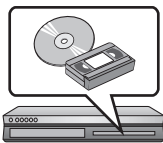
3 録画の準備をする

テレビ・ビデオ機器の準備

- 対応する外部入力に切り換えます。
- DVD-Rやビデオテープなどを入れます。

本機の準備

- 接続設定メニューの"ビデオ出力"を接続するテレビの画面比(4:3または16:9)に合わせます。(P.24)
- 日付も一緒にダビングしたいときは、接続設定メニューの"テレビ表示"を"入"にします。(P.24) また、再生メニューの画面表示を日付のみ表示にしてください。(P.23)



その他

4 録画を開始する

- 本機で動画を再生(P.14)し、ビデオ機器の録画ボタンを押してください。
- 再生が終わったら、録画を停止してください。

パソコンに保存する

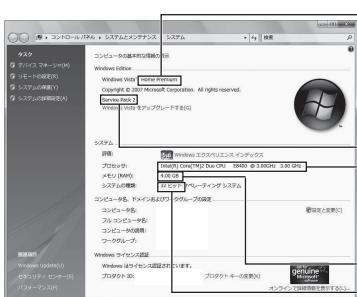
パソコンの性能(目安)を確かめる

Windows パソコンをお使いのかたは

付属ソフトを使って、パソコンに映像を保存できます。

スタートメニューのコンピュータ(またはマイコンピュータ)を右クリックし、プロパティを選んで次の項目を確認してください。

■ Windows Vista / Windows 7 の場合



- Windows Vista Home Basic または Home Premium (共にプリインストール版のみ)
- Windows 7 Home Premium (プリインストール版のみ)
- Service Pack 2 (Windows Vistaのみ)
- プロセッサ：
 - Intel Core Duo CPU 1.5 GHz 以上
 - Intel Pentium 4 CPU 1.6 GHz 以上
 - Intel Pentium M CPU 1.4 GHz 以上
- メモリー：1 GB (1024 MB) 以上
- システムの種類：32ビット/64ビット

■ Windows XP の場合



- Windows XP Home Edition または Professional (共にプリインストール版のみ)
- Service Pack 3
- プロセッサ：
 - Intel Core Duo CPU 1.5 GHz 以上
 - Intel Pentium 4 CPU 1.6 GHz 以上
 - Intel Pentium M CPU 1.4 GHz 以上
- メモリー：512 MB 以上

お知らせ

- 上記の条件を満たしていないパソコンでは、付属ソフトを使用できません。
- 付属ソフトでは、静止画をディスクに記録できません。
- 詳しくは、パソコンの製造元にお問い合わせください。

付属ソフトをインストールする

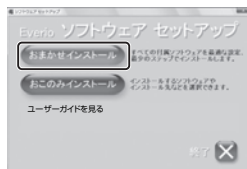
付属のソフトを使って、撮影した映像をカレンダー型式で表示したり、簡単な編集をすることができます。

1 付属の CD-ROM をパソコンにセットする

(Windows Vista / Windows 7 のみ)

- ① 自動再生画面で "INSTALL.EXE の実行" をクリックする。
- ② ユーザーアカウント制御画面で "続行" をクリックする。
 - しばらくすると "ソフトウェアセットアップ" が表示されます。
 - 表示されないときは、マイコンピュータのなかの CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

2 "おまかせインストール" をクリックする



- 以後、画面の指示に従ってインストールしてください。

お知らせ

Web ユーザーガイドをご覧になるには

- インターネットに接続し、"ユーザーガイドを見る" をクリックします。

3 "完了" をクリックする

4 "終了" をクリックする



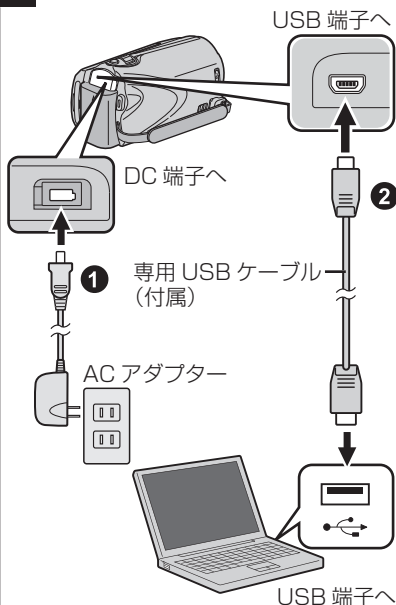
Everio
MediaBro...

- Everio MediaBrowser のインストールが終了し、デスクトップにアイコンが表示されます。

すべてのファイルをバックアップする

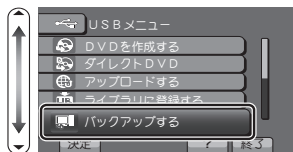
バックアップする前に、パソコンのHDDに十分な空き容量があることを確認してください。

1 USBケーブルとACアダプターを接続する



2 液晶モニターを開く

3 "バックアップする"を選んで、**OK**をタッチする



- パソコンで付属ソフトのEverio MediaBrowserが立ち上がります。以降の手順は、パソコンで操作します。

4 ボリュームを選ぶ



5 バックアップを開始する ファイルの保存先 (パソコン)



6 バックアップが終わったら、"OK"をクリックする

付属ソフト Everio MediaBrowser の操作などで困ったときは、裏表紙の「ピクセラユーザーサポートセンター」へご相談ください。

■ 本機をパソコンから取りはずすとき

- ① "ハードウェアの安全な取り外し"をクリックする

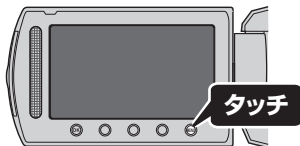


- ② "USB 大容量記憶装置～"をクリックする
- ③ (Windows Vista の場合) "OK"をクリックする
- ④ USB ケーブルをパソコンから取りはずし、本機の画面を閉じる

メニューの使いかた

メニューを使ってさまざまな設定ができます。

1 メニューを表示する



- お使いのモードによって表示されるメニューが異なります。

2 設定したいメニューを選んで、OKをタッチする



3 設定を変更して、OKをタッチする



- **設定を終了するとき**
「MENU (終了)」をタッチします。
- **一つ前の画面に戻るとき**
「◀」をタッチします。
- **ヘルプを表示するとき**
「？」をタッチします。

設定メニュー一覧

■ 動画撮影メニュー※

マニュアル設定

- 撮影の設定を手動で設定できます。
(マニュアル撮影時のみ表示されます)
- ▶ マニュアル撮影モードに変更するには(P.12)
 - ▶ マニュアル設定メニュー(P.22)

イベント登録

動画撮影前に登録すると、イベント(旅行、運動会など)に分類できます。

動画画質

動画画質を設定します。

ズーム倍率

ズームの最大倍率を設定します。

感度アップ

暗いところで自動的に明るく調節します。(静止画とは別に設定できます)

タイムラプス撮影

一定間隔に1コマずつ撮影して、長い時間かけてゆっくり移り変わるシーンを短時間で再生することができます。

フレームイン REC

液晶画面に表示される赤枠内の被写体の動き(明るさ)の変化を感知して、自動的に撮影開始および撮影停止をします。

ワイド撮影切替

画面比を 16:9 または 4:3 にして撮影できます。

ウィンドカット

風の音を低減します。

自動記録メディア切替

記録メディアの空き容量がなくなったときに、記録メディアを切り替えて撮影を続けます。

時計合わせ

現在の時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

■ 静止画撮影メニュー ※

マニュアル設定

撮影の設定を手動で設定できます。
(マニュアル撮影時のみ表示されます)

- ▶ マニュアル撮影モードに変更するには(P.12)
- ▶ マニュアル設定メニュー(P.22)

セルフタイマー

記念撮影するときに使います。

シャッターモード

連写を設定できます。

静止画画質

静止画画質を設定します。

感度アップ

暗いところで自動的に明るく調節します。(動画とは別に設定できます)

フレームイン REC

液晶画面に表示される赤枠内の被写体の動き(明るさ)の変化を感知して、自動的に静止画の撮影をします。

時計合わせ

現在の時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。

M マニュアル設定メニュー

シーンセレクト

状況に合わせた撮影ができます。

☑ ナイトアイ:周囲が薄暗いと、自動的に感度を上げて明るくします。

☑ 夜景:夜景を自然な感じに撮影できます。

☑ ポートレート:背景をぼかして、人物を浮かび上がらせます。

☑ スポーツ:動きの速いものを1コマ1コマ鮮明に撮影できます。

☑ スノー:晴れた日の雪原などで、被写体が暗く映ることを防ぎます。

☑ スポットライト:ライトの中の人物が明るくなりすぎないようにします。

フォーカス

手動でピント合わせできます。

明るさ補正

画面全体の明るさを補正します。
(動画と静止画で別々に設定できます)

シャッタースピード

シャッタースピードを調節できます。
(動画と静止画で別々に設定できます)

ホワイトバランス

光源に合わせて、色合いを調節できます。

逆光補正

逆光で被写体が暗くなるのを補正します。

測光エリア

明るさの基準を測るエリアを設定します。

エフェクト

白黒映像やセピア色などの効果を付けて撮影します。

(動画と静止画で別々に設定できます)

テレマクロ

ズームの望遠(T)側のときに接写できるようになります。

※ 「表示設定」、「本体設定」、「接続設定」、「メディア設定」の項目は、P.24をご覧ください。

- 詳しい設定内容については、Web ユーザーガイドをご覧ください。
- 2 階層目の項目は、1 階層目にある項目を選ぶと、表示されます。
- メニューの使いかたは、P.21 をご覧ください。

■ 動画再生メニュー ※

削除

不要な動画を削除します。

検索

グループ、撮影日、イベントのいずれかで、一覧表示する動画を絞り込みます。

プレイリスト再生

プレイリストを再生します。

プレイリスト編集

プレイリストを作成または編集します。

MPG ファイル再生

管理情報を修復した動画ファイルなどを再生します。

編集

□ コピー:

別のメディアにコピーします。

□ ムーブ:

別のメディアに移動します。

On プロテクト/解除:

誤消去防止のプロテクトを付けます。

✂ トリミング:

動画から必要な部分をコピーし、新しい動画として保存します。

📅 イベント変更:

一度記録したイベントを変更します。

画面表示

再生中の表示内容を切り替えます。

時計合わせ

現在の時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。

■ 静止画再生メニュー ※

削除

不要な静止画を削除します。

日付検索

撮影日から、一覧表示する静止画を絞り込みます。

編集

□ コピー:

別のメディアにコピーします。

□ ムーブ:

別のメディアに移動します。

On プロテクト/解除:

誤消去防止のプロテクトを付けます。

スライドショー効果

スライドショーの切り替え効果を設定します。

画面表示

再生中の表示内容を切り替えます。

時計合わせ

現在の時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。

※ 「表示設定」、「本体設定」、「接続設定」、「メディア設定」の項目は、P.24 をご覧ください。

表示設定メニュー

日付表示配列

年月日の並び順と、時間表示(24h/12h)を設定します。

モニター明るさ調整

画面の明るさを調整します。

モニターバックライト

モニターのバックライトを設定します。

本体設定メニュー

デモモード

本機の機能のデモを再生できます。

オートパワーオフ

電源の切り忘れ防止のため、5分放置でバッテリー使用時は電源を切り、ACアダプター使用時は待機状態になります。

操作音

操作時に音を鳴らすか設定します。

録画ボタン

画面に「録画」ボタンを表示し、START/STOP ボタンの代わりに使うことができます。

高速起動

5分以内に再び画面を開くと、すぐに起動できます。

ファームウェア更新

本機の機能を最新版に更新できます。

工場出荷

すべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。

接続設定メニュー

テレビ表示

テレビで再生するときに、アイコンや日時を表示できます。

ビデオ出力

接続するテレビに合わせて画面比(16:9 または 4:3)に設定します。

メディア設定メニュー

動画スロット選択

動画を記録/再生するスロットを選択します。

静止画スロット選択

静止画を記録/再生するスロットを選択します。

SDフォーマット

SDカードのファイルをすべて消去(初期化)します。

撮影時間/枚数の目安

動画の撮影可能時間や撮影時間は、 (電源/情報) ボタンを押すと確認できます。

動画の撮影可能時間の目安

画質	SD カード			
	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
ウルトラファイン	56 分	1 時間 50 分	3 時間 45 分	7 時間 30 分
ファイン	1 時間 20 分	2 時間 50 分	5 時間 40 分	11 時間 20 分
ノーマル	1 時間 45 分	3 時間 45 分	7 時間 30 分	15 時間
エコノミー	4 時間 57 分	10 時間	20 時間	40 時間

- 撮影時間は目安です。撮影するシーンによって短くなる場合があります。

静止画の撮影可能枚数の目安(単位:枚)

/	画像サイズ	画質モード	SD カード			
			256 MB	512 MB	1 GB	2 GB
静止画	832x624 (4 : 3)	ファイン	970	1950	3950	7590
		スタンダード	1450	2930	5930	9999
動画	640x480 (4 : 3)	ファイン	1450	2930	5930	9999
		スタンダード	2080	4180	8480	9999
	640x360 (16 : 9)	ファイン	1820	3660	7420	9999
		スタンダード	2430	4880	9890	9999

- 4 GB 以上の SD カードには (画像サイズや画質などに関わらず) 9999 枚まで撮影できます。

撮影時間の目安(バッテリー使用時)

バッテリー	実撮影時間	連続撮影時間
BN-VG107	50 分	1 時間 30 分
BN-VG114	1 時間 40 分	3 時間 5 分
BN-VG121	2 時間 35 分	4 時間 40 分

- "モニターバックライト"が "標準"のときの値です。
- 実撮影時間は、ズームの使用や、撮影と停止の繰り返しなどで短くなります。(撮影予定時間の約 3 倍分を用意することをおすすめします)
- 十分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。(新しいものに交換してください)

故障かな！？と思ったら

修理を依頼する前に、もう一度、以下の表および Web ユーザーガイドの「困ったときは」をご確認ください。それでも不具合があるときは、お買い上げ店、またはビクターサービス(裏表紙参照)にお問い合わせください。




なお、ビクターホームページ(<http://www.victor.co.jp/>)から最新の製品 Q&A 情報をご覧ください。

■ 本機はデジタル機器のため、静電気や妨害ノイズなどによりエラー表示や正常に動作しないことがあります

そのときは下記の手順で本機をリセットしてからお使いください。

- ① 電源を切る。(液晶モニターを閉じる)
- ② 電源(バッテリーと AC アダプター)をいったん取りはずす。

こんなときは…

	こんなときは	ここを確かめてください	参照ページ
電源	画面を閉じると電源/充電ランプが点滅する	<ul style="list-style-type: none">● バッテリーの充電中です。	P.6
	撮影できない	<ul style="list-style-type: none">●  /  ボタンを確認してください。●  ボタンで撮影モードにしてください。	P.12 P.14
撮影中	勝手に撮影が停止した	<ul style="list-style-type: none">● 電源を切り、しばらく経ってから電源を入れてください。(本機の温度が上がると、回路の保護のため自動的に停止します)● 12 時間連続撮影すると撮影が停止します。	- -
	日時表示がでない	<ul style="list-style-type: none">● 再生メニューの "画面表示" を設定してください。	P.23
再生	音や映像が途切れる	<ul style="list-style-type: none">● シーンとシーンのつなぎ部分で途切れることがあります。故障ではありません。	-

その他	充電中、ランプが点滅しない	<ul style="list-style-type: none"> バッテリー残量を確認してください。(バッテリーが満充電されていると、ランプが点滅しません) 低温や高温の環境で充電しているときは、許容動作温度の範囲内の環境で充電してください。(範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります) 	P.12 P.6
	スライダーや操作ボタンがきかない	<ul style="list-style-type: none"> 手袋などをはずしてください。 指で触れて操作してください。(爪やペン先などでは、操作できません) 	- -
	本機が熱くなる	<ul style="list-style-type: none"> 故障ではありません。(長時間使用すると、本機が多少熱くなることがあります) 	-

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

こんな表示がでたら…

こんな表示がでたら	ここを確かめてください	参照ページ
カードへ記録できませんでした	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源を入れ直してください。 	P.10
未対応のシーンです(動画)/ 未対応のファイルです(静止画)	<ul style="list-style-type: none"> 本機で記録したファイルを使ってください。(他機で記録したファイルは、再生できないことがあります。本機で記録したファイルの場合、ファイルが壊れています) 	-
撮影データが少ないため保存できません	<ul style="list-style-type: none"> 実記録時間の表示が「0:00:00:17」以下のときに撮影を停止すると、動画を保存できません。 	-

使用上のご注意

- 精密機械ですので、落下や振動・衝撃を与えないでください。
記録や再生ができなくなります。
- 本機、バッテリーなどを、直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。
内部の電池やバッテリーは、高温になると、破裂することがあります。
- 撮影したデータはパソコンやDVDなどに保存してください。
データが失われた際、弊社では一切の責任を負いかねますので、パソコンやDVDなどに定期的に保存することをおすすめします。
- データ流出によるトラブルを回避するには、市販のデータ消去ソフトを使ってデータを完全に消去するか、SDカードを金槌などによって物理的に破壊することをおすすめします。
この処理は、お客様の責任において行ってください。
万一、個人データが漏洩した場合、当社は一切の責任を負いかねます。

バッテリーの処分について

バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
安全のため、端子部にセロハンテープなどを貼ってください。
お問い合わせ：有限責任中間法人 JBRC <http://www.jbrc.net/hp/>



Li-ion

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

著作権について

- 録画・撮影・録音したもの、付属のソフトウェアで編集したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。特に音楽 CD を BGM とするムービーを編集する場合は、音楽 CD の複製と同様の制限が生じますのでご注意ください。
- 鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合があるので、ご注意ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

他社製品の登録商標と商標について

- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビーとダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- YouTubeとYouTubeロゴは、YouTube LLC.の商標および商標登録です。
- Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- iPod、iTunesは、米国およびその他の国で登録された米国Apple, Inc.の商標です。
- Intel Core、Pentium、Celeronは、米国Intel Corporationの商標または登録商標です。
- その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TMマークと®マークを明記していません。

イラスト・画面表示について

本書に描かれているイラスト・画面表示は、わかりやすくするために誇張・省略があります。また、改良のため予告なく変更されることがあります。

仕様

カメラ本体

電源	AC アダプター使用時:DC 5.2 V バッテリー使用時:DC 3.6 V
消費電力	1.5 W ("モニターバックライト"が "標準"の場合)
外形寸法(mm)	52×62×110 (幅×高さ×奥行き:グリップベルトを含まず)
質量	約 200 g(本体のみ)、約 230 g(付属バッテリー含む)
動作環境	許容動作温度:0℃～40℃、許容保存温度:-20℃～50℃ 許容相対湿度:35%～80%
映像素子	1/6 型 80 万画素
撮像エリア(動画)	41 万画素(光学ズーム) 41 万～55 万画素(ダイナミックズーム)
撮像エリア(静止画)	55 万画素
レンズ	F1.8 ～F4.3、f=2.2mm～85.8mm (35mm カメラ換算 41.5mm ～1619mm)
ズーム(動画)	光学ズーム:等倍～39 倍 ダイナミックズーム:～45 倍 デジタルズーム:～960 倍
ズーム(静止画)	光学ズーム:等倍～39 倍
動画記録方式	SD-VIDEO 規格準拠、映像:MPEG-2、音声:Dolby Digital (2 ch)
静止画記録方式	JPEG 準拠
記録メディア	SD/SDHC カード (1 枚または2 枚、市販)
時計用電池	二次電池

AC アダプター (AP-V30) ※

電源	AC 100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz
出力	DC 5.2 V、1.8 A
許容動作温度	0℃～40℃(充電時は10℃～35℃)
外形寸法(mm)	78×34×46 (幅×高さ×奥行き:コードと AC プラグを含まず)
質量	約 107 g

※ 海外で AC アダプターを使うときは、訪問国や地域に合った市販の変換プラグをご用意ください。

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。

保証とアフターサービス

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

修理を依頼される場合（持込修理）

「故障かな！？」と思ったら…」(P.26) にしたがって、まずご確認ください。
ご確認後、なお異常があるときは、電源を切り、必ずバッテリーと AC アダプターを取りはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

1. 品名：ビデオカメラ
2. 型名：表紙参照
3. お買い上げ年・月・日
4. 故障の状況
5. ご住所・お名前・電話番号

■ 保証期間中は

保証書の規定にしたがって販売店にて修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

保証書（別添付）

必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
保証書は大切に保管してください。

ご相談窓口における 個人情報のお取り扱い

日本ビクター株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

性能部品の保有期間

当社は性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

免責事項

- 本機や付属品、SD カードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。
- 商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
- 万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

■ 製品についてお困りのことがありましたら・・・

ホームページ情報

製品に関するQ&A、メールによる問い合わせなどは
ビデオカメラサポート情報
<http://www.jvc-victor.co.jp/dvmain/support/>

付属ソフトEverio MediaBrowserのご相談

ピクセラユーザーサポートセンター

 **0120-727-231**
(ナビダイヤルが使用できない場合)
06-6633-2990

ホームページ
<http://www.pixela.co.jp/oem/jvc/mediabrowser/j/>

取扱い方法などのご相談

お客様ご相談センター

 **0120-2828-17**

- 電話番号を良くお確かめの^上、
おかけ間違いのないよう^で注意
ください
- 携帯電話・PHSなどからは、
次の電話番号をご利用ください
045-450-8950

アフターサービスのご相談

お買い上げの販売店、または
ビクターサービス修理受付センター
にご相談ください。

ビクターサービス修理受付センター
 **0800-800-9928**

- ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、P.31をご覧ください。



ユーザー登録
のすすめ

製品のサポート情報、イベント情報等の
提供サービスなどをご利用いただけます。

<http://www.victor.co.jp/reg/>

日本ビクター株式会社

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12